

第2回 杜のみやこ工芸展 審査員

〔漆芸工芸作家・日展会員〕

沓澤 則雄

くつざわ のりお



秋田県湯沢市（川連町）生まれ。
湯沢高校卒、秋田県工業試験場川連指導所で学ぶ。
日展会員、現代工芸美術家協会理事
昭和39年 日展初入選
平成4年 河北工芸展顧問
平成6年、平成10年 日展特選
平成14年 日展審査員
平成15年 日展会員
平成29年 第66回河北文化賞受賞

第2回杜のみやこ工芸展に寄せて

河北工芸展を継承した「杜のみやこ工芸展」、第2回展の開催、大変喜ばしく思います。

此の度、北の縄文遺跡群が世界文化遺産に登録されました。物造りは既に縄文時代から始まっており、永い歴史の最先端で私達は現代の工芸として、それを引き継いで来ております。

工芸素材は陶磁や染織・漆・木竹・金属・七宝…等、古代より自然からの恵みのものが多く有ります。現代に於いては新素材や新しい技術・技法が生み出され、工芸も巾の広さを感じます。

若い作家の自由で力強い作品やベテランの重厚で優れた技術の作品など、多種多様な作品に期待感大です。

作家、各々の心の中から滲み出た作品が、見る人々の心に響き、大震災からの復興やコロナ禍後の時代のパワーになってほしいと念じております。